

授業改善推進プラン(指導方法の課題分析と具体的な改善計画)

家庭	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展的指導計画
1年			
2年			
3年			
4年			
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心をもって意欲的に取り組む児童が多い。 ・手先の不器用な児童がおり、基礎的な裁縫実習では若干の技能差がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習をわかりやすく伝えるため拡大図などを提示して指導する。 ・出来上がりのイメージがわくようにまた、意欲が増すように完成したものの見本を提示する。 ・丁寧な仕上がりになるように製作途中で賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫がしやすい教材選択を心がける。 ・作業に集中できない児童は個別指導をする。 ・実習したことが生活の中でいかなせるように、学習内容を過程で還元できるよう声をかける。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・特に調理実習で興味関心をもって意欲的に取り組む児童が多い。しかし、裁縫実習については、技能差が出始め、意欲にも差が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの思いや願いを大切にして、創意工夫がしやすい教材選択を心がける。 ・自分や家族の生活に役立つ教材選択を心がける。 ・見通しをもって製作できるように、製作過程や既習事項の標本・見本などを掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能にかかわる既習事項等が詳しく分かるようにICT機器等を活用して提示する。 ・家庭での実践を薦め、習ったことを実際の生活に生かすことができるように言葉かけをする。 ・完成した作品は自分で使うだけでなく、家族にもるよう声をかける。